

# 基礎調査

## ミャンマー国 野菜優良種子の生産・栽培技術移転及び流通にかかる基礎調査

### 企業・サイト概要

- 提案企業：福井シード株式会社
- 代表企業所在地：福井県福井市
- サイト：想定する主な調査地（ミャンマー国・地域（ヤンゴン・ネピドー・中央乾燥地域のメイミョウ地区とデルタ地域のビンタダ地区）



### ミャンマー国の開発課題

ミャンマー国農業は、GDPの約3割を占め、国民の約6割が農業従事者であり、課題として農民の貧困緩和のために農産物の生産性向上が求められている。

その政策として地方開発・貧困緩和策アクションプラン（農業セクター）8項目を掲げコム・豆類・トウモロコシ・ゴマ・季節野菜の農業生産性向上による収入向上を目指している。

### 中小企業の製品・技術

当社の優良種子は高機能を付加したハイテク商品であり農作物の増産、生産性向上に寄与している。

この種子の開発・種子生産・栽培技術及び種苗・販売システムを地方開発・貧困緩和策アクションプラン（農業セクター）の ①近代品種、高収量、市場性の高い種子の選択、③播種から収穫後処理施設に関する技術研修、⑤肥料、農薬、初期投資等の必要な投入の三つの政策に対応する製品・技術群。

### 日本の中小企業の事業戦略

ミャンマー国の種子セクターがHybrid (F1) 品種及び生産技術を求めている状況にあることからミャンマー国に技術、製品を評価してもらう仕組みとして、Hybrid (F1) 品種の技術開発協力及び商業ベースでの種子の増殖・普及を行う。

展開はミャンマー国地場企業との連携による育種、品種改良事業を行い現地生産拠点の構築。その拠点からの供給・流通体制を構築することを戦略として位置づける。更に他のASEAN諸国での生産拠点化を進め優良種子の提供をグローバル化する。

### 中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

本事業により①農業セクターへの水平展開としてミャンマーの4地域の農業のゾーン別地域特性にあった優良種子が普及する。②優良種子による農産物の生産性が向上する。③官民連携による高品質な野菜種子生産システム構築をすることで優良種子がミャンマー国農民をはじめグローバルに供給されミャンマーの経済力の向上に寄与する。

これらのことはミャンマー国の農産物の生産性向上もたらすことから農民の貧困緩和となる開発効果となる。